夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番 編集兼印刷発行人 吉田 甫

お食事のデパート 出前迅速 不二屋 電八八六 一七五〇

草野村も正式合併 今日緊急村會で決議さる

平市合併についてじつと四囲の動きを静観していた草野村では、過般の豊間、夏井、高久各町村の正式調印と同時に活発な運動に入り、坂本村長が陣頭指揮で、村内九部落で説明会を開いた結果、挙村一致全部落とも平市合併を希望、八日午後二時から緊急村会協議会を開いて審議したところこでも全員一致一名の反対者もなく合併に賛成となつた、そこで間ぱつを入れず今日九日午後二時から緊急臨時村会を招集して一しや千里に平市との合併を正式決議した、終つて坂本村長、議長らが平市に諸橋市長を訪問合併の申入れを行つた、これで平市は草野村の五千七百人（一千世帯）を加え待望の一町三ケ村総人口六万五千の大平市合併が実現することとなつた。

坂本草野村長談 盛り上る氣運待つていた

遅ればせながら、一気に平市との合併を決議した草野村坂本村長は語る。

「他町村の動きをじつと静観していたので巷間伝えられるような、村長が判らずやだなんてことは一部新聞のデマだ、機をみて処するというか初めからその時機を待つていたまでだ、九ツの部落では何れも挙村一致平市との合併を希望しており、村民の間からその機の熟するのを待つていたのだ」

常磐産業道路

常磐市では十日から田場坂―小野田線の産業道路開発工事を二ケ年継続の失対事業で着工することになつた、延長約二千米。

常磐教委会

常磐市教育委員会は九日午前九時から湯本公民館に開き、二十九年度教育費追加更正予算（二百八十六万九千円）について協議した。同教育費既定予算は四千三百五十六万七千三百五十五円で追加予算の主なものは、旧鹿島三部落児童生徒の委託料二百万、田代部落児童生徒委託料三万、三小校電話架設料二十五万、二小校崩壊石垣改修費四万五千、一小校廊下改修費五万、交際費六万となつている。

農協作品展に泉小入賞

県下農協貯蓄増進運動に関する作品展に磐城市泉小学校から左記の児童らが入選した。

◇作文、佐藤秀子（四年）◇ポスター、一位山本博章（六年）三位上遠野忠行（五年）三位、須藤勇一（四年）四位、上遠野清（三年）

常磐市で青年学級球技

常磐市湯本公民館主催の青年学級球技大会は十二日午前九時から湯高球場で挙行されるが、組合せ次の通り。

（野球）湯本―事務局、駒草―途上、（バレー）湯本―途上、駒草―事務局、（卓球）（十三日午後六時から公民館ホール）駒草―湯本、途上―事務局となつている。

高木代議士一行 双葉郡下の実態調査行う

元農林大臣森幸太郎代議士。高木松吉代議士、佐々木、山田、松本の各県議ら一行は左記日程で双葉郡下の各町村実態調査を行う、

▽十一日、久之浜（午後二時）大久（同四時）広野（同六時）

▽十二日、木戸（午前十時）龍田（午後一時）富岡（同三時）双葉（同六時）

▽十三日、川内（午前十時）熊町（午後三時）大野（同六時）

▽十四日、標葉（午後十時）浪江（午後一時）大堀（同三時）刈野（同五時）

▽十五日、葛尾（午前十時）津島（午後三時）

常磐市の少年図書部会

常磐市少年図書部会第二回総会は此の程湯本公民館で開き、役員改選を行つた結果

▽会長、鈴木栄俊（一中）▽副会長、川越光持（二小）〃若松民子（一小）▽書記、白坂桂子（一中）〃市川芳潤（一中）▽会計、高張直勝（二中）〃渡辺典男（一中）、を選任し、つづいて九月行事の審議、来る十二日湯の嶽に登つて同山の動植物研究を行う他、九月中に少年図書部会の文集を発行することを決定し投稿を呼びかけることになつた

総合グラウンド実行委員会

六日選任された七名からなる平市総合グラウンド建設期成同盟会の第一回実行委員会は来る十一日午後二時から平市役所会議室で開く協議事項は同グラウンド建設に関する陳情書の件について。

農事講習会

常磐市農務課では十三日午前十時から湯本公民館に宮城県農業大学寮長酒井磐氏を招き、農事講習会を開く。

体育指導研究会

平市立学校研究協議会主催の「平市小校保健体育指導研究会」は八日午前九時から市内各小校の体育保健担当教員が参集、講師として県教委保健体育課主事鈴木武雄氏を招へいして平六小校で行われ、主に体育指導、健康教育指導などにつき各学年別に同六小生徒により実施、指導要領並に研究協議された。

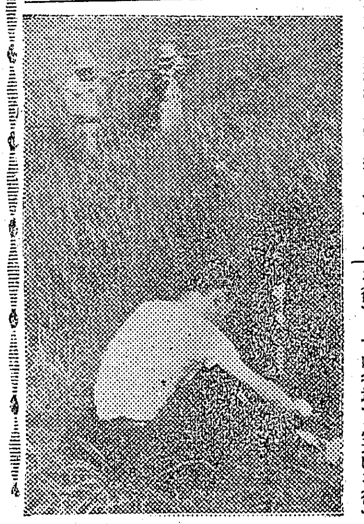
内郷市内小中の運動會

内郷市内小中校の秋季運動会は次の日程で挙行する。

◇十二日内郷二中◇十九日宮小高坂小◇二十六日みまや小、綴小、白水小◇十月三日内町小となつており内郷一中校は春季に行われているため挙行しない。

爆音で鳥追い 田甫に時ならぬ風景

憂いられた二百十日も無事にすみ二百廿日もこの分ではどうやら事なく済みそうだ、この峠を越せば豊作である、平市農務課では出穂したばかりの大事な稲が、スズメ共に荒されては大変だと二、三日前から平猟友会員三十余名の応援を得て、市内各地で鳥追いを行つている、空鉄砲のほかにカーバイト利用の自動バク音器七台を使用してドスン、ドスンとスズメ追いに懸命で時ならぬにぎやか風景をみせている、なかにはバク音で気絶するスズメも出ると言うので係官も大張り切りだそうだ。



（写真はその鳥追い風景）

算数科講習

常磐市教委主催の市内教職員算数科講習会は十三日午前九時から湯本第三小校に学校算数科主任及び副主任を集めて開き、三小校渡辺正保教諭の計算能力を如何に向上させるかについて授業参観后、合同テスト、研究討議などを行う。

出生死亡 七日届出

出生＝材木町三六理髪業猪苅富男さん長男滋ちゃん、中塩字沖三一鉄道員松本三男さん二女陽子ちゃん。

死亡＝田町五四無職小松米作（七三）さん。

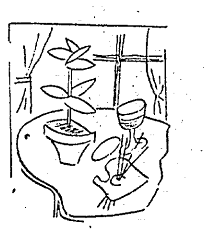
天氣予報

（今晩）南寄りの風曇り時々晴一時俄雨の降る所もありましよう

（明日）南寄りの風朝晩曇り日中晴の天気でしよう。

（海上）日中多少風波ありましよう。

かけ出し時代の思い出



網をくぐつて高飛び ナゾの葉書が配達！【17】

そうこうしているうちに夜が白々と明けて来た、疲れも手伝つてねむくて仕方がないので通信部への帰り道にフトこんな心に襲われた、

「N代議士は助かつて、犯人の彼は遠方へ高飛びしてくれと」

二、三時間とろとろとして、明けて翌日、朝食も欲しくないので起き出した足で警察へ行つてみた、その頃から各社が漸く動き出して来たホシ（犯人）がどうやら非常線をくぐつて高飛びしたらしいので、署長も詳しい内容を発表しない、他社の連中はブウブウ言つて荒筋だけでも発表しろと迫つている、こちらは署長や司法主任以上に、犯罪の動機も、犯人も、兇器も皆んな知つている、昨夜のうちにN代議士の写真だけは書原稿と一緒に送稿しておいたので悠々たるものである、唯気になるのはN代議士の容態だ、病院へ顔を出してみたら生命は大丈夫だという、相当深く胸部に刺つたのだが、急所がはずれてそれに手当が早やかつたので峠を越したと医師の話である、人ごとながらヤレヤレと安心した、それにしても心配なのは犯人彼の足どりである、二日ほど経つて代議士が臨床尋問が出来る程度に快方に向つて来たので、司法主任が状況を聴きとつたところ、犯人の人相風態など全く判らないという「汽車の疲れで夜九時頃から床につきぐつすり寝込んでいたので刺されるまで判らなかつた、痛いと思つたのは瞬間であとは気絶してしまつたという」傷は胸と腹部と二ケ所だつたが何れも急所がはずれていて助かつた、家族のものが物音とウメキ声を聞きつけてかけつけたのは犯行後三十分位経過してかららしい、驚いて医師に連絡、入院と言うので警察への届出は犯行後一時間位たつてからである、さあ！こうなつては捜査の手掛りとなるものが何一つない、そこで更めて振出しに戻つて基本捜査となつた、前科者、町の不良、流れ者、家出人などを洗いにかゝつたが、およそ五十人近い者を調べたが、これぞという手掛りが浮いて来ない、そのうちに一週間が早くも経過してしまつた、代議士の傷も全く快方に向いベットに起きていられるようになつた、日曜の午後に見舞がてらに病院を訪ね、代議士の心境などを聞いてみた、「別に犯人をうらんでいるでもなく、これが政治家の常で畳の上で死ねるなんざあ、むしろ幸せと考えるべきだろう」と笑つていた、夕刻家へ帰つてみたら、青森県の浅虫温泉にてとして無記名の絵葉書が一枚配達されていた何んの気もなく文面を読んでゆくうちにドキンと胸を打たれた、正しく犯人彼のハガキである、（続）

銘菓 平餅 松月堂

1000名様 御好評のため更に 御招待大売出し 10、19

300円お買上げ毎に 抽籤券1枚進呈

特賞 M式編物機械1台（価格8、500）
一等 招待券1,000名様
末等 伊東絹子サイン入りハンカチーフ又はニツサン石ケン1個進呈
空くじなし

1、500円以上お買上げのお客様には招待券差上げます

純毛トツプ染
呉羽紡チヨツプ品 アポロ毛糸
カネボウチヨツプ品 ポポ毛糸

純毛後染
ゴールデン・キング

店頭において連日M式編物機実演をしております

奥さまお嬢さんの話題を独占した伊東絹子一行四十名の豪華けんらん本年最大のミユージカルフアツシヨンシヨウは、満都に絶さんと共感をよんで九月一日日比谷公会堂にて、高松宮御夫妻御臨席のもと幸先よいスタートを切りました、このシヨウを間近にしてより大勢の奥さまお嬢さんに見て戴くため、鈴藤は更に一、〇〇〇名様御招待大売出しを決行して御好評にお応い致します。

9月19日午前11時ころ 三丁目支店の店頭へ伊東絹子さん始めモデルさんもお訪ね致します

御買上	300円毎に抽せん券1枚
期間	9月10日より19日まで
とき	9月18日 19日
ところ	平市公会堂

衣料品のデパート 鈴藤

石造りの酒會社崩壊!!
勤務中の事務員ら負傷

八日午后六時十分ころ平市三丁目六、福島県酒類卸株式会社平支店＝支店長荒川千代造氏(五五)＝の大谷石造りの建物（巾三門半、奥行十二間で、事務室、倉庫、住宅を兼ねている）が轟音とともに崩壊し、近所の人達がおどろいて外に出てみたときにも崩壊は未だつゞいており、南町特飲店三島屋側に倒壊寸前にあつたのを直経七、八寸の丸太で支え、辛うじて全壊は喰いとめたが事務室で勤務中の会計係山崎実さん(三二)と、居あわせた磐城通運人夫大谷虎之助さん(五六)の二名は逃げおくれて肩、背、足などに打撲傷を負い近くの松村医院に担ぎ込まれた。

原因は老朽か？
酒焼酎など多数下敷

平署で原因を調べたところ、隣の東邦銀行平支店工事（二十七年十月着工、二十八年十二月完成）に因る地盤のゆるみからとみられていたが結局、老朽による崩壊であることがつた。

崩壊でうけた損害は酒類三十石焼酎一斗カメ三百個など二千二百万円相当といわれているが、近隣に被害はなかつた（写真は崩壊した酒会社）

酒類卸株式会社平支店事務員和田直男さん(四三)談

「壁が落ちて来たのですぐ表へ飛び出したのですが、出るとすぐ物凄い音と一緒に崩れ落ちました、もう少しおそかつたらどうなつていたかわからない、全く命拾いをしました」

平駅で御難

九日午前一時三十分ころ平駅待合室で列車待合せ中の東京都中央区日本橋横山町四、丸越洋傘K、K会社員神尾高雄さん(三三)は待合イスで仮眠中、ぬいで置いた黒短靴時価三千円担当を盗まれたと平鉄道公安室に届出た。

口論の末短刀で刺傷
赤井と三阪に祭の喧嘩

（その一）八日午後十一時ころ三阪村上三阪諏訪神社祭礼に来ていた永戸村渡戸字石張無職鈴木哲次郎(三七)は飲酒の上、通りかかつた石川郡小平村上比方字橋場駒木根憲一さん(三六)に因縁をつけ、隠しもつていた短刀で駒木根さんの両足大たい部、尻など三ケ所にいづれも深さ五センチに達する程突き刺し、なおも暴れ廻つているところを傷害現行犯で平署に逮捕された。

駒木根さんは平市竹林病院に担ぎ込まれ手当を受けたが全治一ケ月の重傷である。

（その二）八日午後十一時四十分ころ赤井村不動堂諏訪神社祭礼を見に来ていた赤井村日曹炭砿社宅古川清さん(三七)は同村高萩字小路尻剣ケ峯砿山事務所前、同砿職員柿原忠幸(三四)とさゝいなことから口論となつたが、柿原はやにわに短刀で古川さんの前額部、胸部などを切りつけて重傷を負わしたとの報せで平署員が急行、柿原を傷害現行犯で逮捕した。

被害者古川さんは平市竹林病院に入院　手当を受け、一時は出血多量で危ぶまれていたが危く一命を取りとめたが、全治二ケ月の重傷である。

同乗の娘さん即死
赤井でオート三輪横轉

八日午后十一時四十分ころ赤井村塩田字平石地内県道上を疾走していた同字一〇五杉本文男(三二)の運転するオート三輪車が前方から来たトラックを急に避けようとしたためもんどり打つて横転し同乗していた赤井村塩田尾の内三十農富田寛明さん五女タミ子さん(三二)は肋骨三本を折つて即死、杉本は両手に全治一週間の擦過傷を負つた。

石城の梨まつり
八幡さまの祭日に行う

試植以来百五十年の歴史をもつ石城地区果実組合連合会では予ねて立案中だつた「石城梨振興祭」を来る十四、十五の両日飯野八幡神社祭礼の人出を利用して平市才槌小路平盲唖学校に於て開くことになつた。

同連合会では第一回の梨祭りでもあるので平窪、赤井、小川、大野と郡内各地の果実園から美味、品種最良の二十世紀、長十郎、八雲などと二百五十点を出品させて展示会並に市価より安い値で即売会も行うことになつている。

銘菓　六段羊羹　平　凡

臓物故買

常磐署は八日常磐市湯本字上川七養豚業杉山清こと金道満(三八)を臓物故買で書類送検した。

杉山は去る六月十三日午前九時ころかねて知り合いだつた内郷を巣に平、常磐などの炭砿街を荒し廻つた二百万円窃盗犯人江川一夫こと梁太水(四三)から盗品と知りつつ四分の一小型モーター（時価四千円相当）を千円で買い、さらに去る六月二十四日正午洋服地十五ヤールほか六十点（時価四万円相当）を一万五千円で臓物故買していたもの。

放射能マグロか？
県指導船福島丸の御土産まぐろ
各地に中毒患者多数發生

インド洋初航海の県立小名浜水産高校所属〃福島丸〃が五日神奈川県三崎港に無事入港、六日乗組員の同校生徒らがマグロ一貫匁から三貫匁位を土産品としてもち帰り、生で食べたのは冷凍されていたため何事もなく。

残つたマグロを焼いて食べたところ八日夕方から九日朝にかけ極度の胸痛とく吐、下痢をもよほし四十度位の高熱を出す食中毒症状患者が磐城、内郷両市と原ノ町、浪江方面にも発生し生命危険の赤信号が発せられた

目下平保健所隆所長ほか係員が現地に急行、食中毒症状の原因調査に乗りだしており、原爆マグロではないかとみられている。

吐しや下痢高熱
命を危ぶまれる中毒症状

食中毒症状をもよほした内郷市御厩町上宿公務員野木強三郎さん方では六日帰省した近所の福島丸乗組員から土産にもらつたマグロの刺身を一家揃つて食べたが何事もなく八日残つたマグロを焼いて食べた家族三名が急に夕方からおう吐下痢の症状をあらわし四十度位の熱を出していると語つているがこのほか磐城市小名浜本町の石井医院で診察された同様症状患者は二十名にものぼつているといわれ目下判明しただけでも、小名浜、原町など合計四十余名特に七十才の爺さんは腹痛症状はひどく命が危ぶまれている。

原爆でない
平保健所の見解

これに関し平保健所小名浜分室では。「マグロによる食中毒とみられるが原爆圏外で収獲されたものであり原爆マグロではないと思われる、だが乗組員が岬沖から冷凍マクロをもち十一時間も列車にゆられて帰省しているので昨今の暑い気候では腐敗する恐れは十分あり、このための食中毒ではないか」と語つている。

美容と映畫の会

常磐市湯本化粧品組合では十七日午后六時から湯本公民館にマネキンガール数名を招き、花嫁衣しようをつくり上げるまでの美容教室と映画の会を開く観覧者は会員約五百名となつてい。

助手台から轉落死
小名浜街道でも惨事

八日午后六時頃磐城市住吉野田地内を常磐市に向つて疾走中の常磐市天王崎テルヤ建材店雇人大内幸一(一七)の運転するオート三輪車が顔にかゝつた手拭のため誤り進行方向左側の電柱に接触、助手台に乗つていた同店員小野幸雄(一六)君はハンドルで胸を強打して路上に転落、足部などに擦過傷を負つて磐城市の病院に担ぎ込まれたが同七時半頃内出血のため死亡した。

なお磐城署では運転手大内を過失致死容疑で取調べている。

顔面を殴打

常磐市水野谷字亀ノ尾土工増淵徳吉(四五)は去る七月三十一日正午ころ同市三沢地内鹿島道路失対事業工事現場で作業中の同市湯本字傾城二土工鮫島国吉(四〇)とさゝいなことから口論となり鮫島の顔面を数十回殴打し暴行容疑で常磐署に逮捕、八日書類送検された。

今週の映画

各館十四日まで
●ひかり座夜の部六、二五　禁断の木の実　裸の島
●世界館夜の部六、三四　唄ごよみいろは若衆　緑の仲間
●平館夜の部七、二七　娘心は恥かしうれし　新婚たくあん夫婦
●聚楽館夜の部六、四〇　オリーヴの下に平和はない　語らざる男
●民劇夜の部六、三〇　戦争と将軍　美人島探険　関八州勢揃い

映畫は平館

御見舞御禮

昨八日午後六時ころ当社事務所が突然倒壊いたしまして御近所にも御迷惑をおかけいたしましたが、早速おかけ付け下され御丁重な御見舞を頂き誠に有難うございました

混雑にとりまぎれ御見舞を頂きながら御尊名お伺いもれもあると存じますので略儀ながら紙上にて御礼申上げます

昭和二十九年九月九日
平三丁目六一電二四一
福島県酒類卸株式会社　平支店
支店長　荒川千代造

仮営業所開設お知らせ

当社事務所倒壊のため左記に仮営業所を設けましたからお知らせ申上げます

仮営業所
平市仲町二〇（大井川様方）
電話一九三　二四一番

御見舞御礼

昨夕当店裏石造倉庫が突然倒壊いたしましたところ早速御見舞を辱うしまして誠に恐縮に存じました
右とりあえず紙上をもちまして厚く御礼申上げます

昭和二十九年九月九日
平市三丁目六
日本勧業銀行平支店
支店長　大場一夫

眼鏡専門
平指定商チケツト御利用下さい
玉屋
平二　電910番

名産
鰹節
志ほから
一
平四
電二一三番

伊東絹子 フアツシヨン シヨー
御招待大売出し
1500円以上お買上げの方に
招待券一枚差上げます
期日
9月7日―9月15日
平市銀座街57
スガタ靴店 TEL 110
平市2丁目11
スガタ靴支店 TEL 2059

厚生指定医療病院
整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
竹林病院
平市十五丁目電八一一・六〇八
院長　竹林貞吉
医員長　津田守道
薬剤師長　高見沢明
レントゲン師　永山洋子
技師　影山三
事務長　根本松恒